

# 生産活動での環境保護

## 水質・大気の保全

水質・大気保全については法規制基準値よりさらに厳しい自主基準値を定めて、定期的な測定や設備の維持管理をおこなっており汚染防止をはかっています。

### 水質保全

工場で使用している冷却水は循環使用をしていますが、一部オーバーフローした冷却水は公共用水域へ放流しています。この水を流している水路の途中に何段階もの水質監視システムを設置し厳しく監視をおこなっています。また、水路系の最終位置に貯水池を設置し異常が検知された場合工場から公共用水域への放流を止めるシステムとなっています。これらのシステムを通じて水質の保全をはかっています。



水質監視システム

### 大気保全

大気中に排出される揮発性溶剤の量を削減する活動に取り組んでいます。

当社製品のひとつであるエナメル線は、銅線にエナメル塗料を炉で塗布焼付けして製造します。塗料には溶剤が含まれていますが、溶剤を大気へ排出させないように溶剤ガスを水と炭酸ガスに分解しクリーンな状態にしています。また、溶剤ガスの分解時に熱が発生しますのでこの熱を焼付け用として熱回収・再利用を行ない大幅な省エネルギーもはかっています。

この溶剤分解装置により溶剤排出量の削減がはかれました。

また、有害大気汚染物質のうち、トリクロロエチレン・テトラクロロエチレン・ジクロロメタンは1997年までに全廃完了しています。



溶剤ガス分解装置